

リスクアセスメント & 作業手順書

工事名称	東海北陸自動車道 高山管内維持修繕業務		作成会社名	中日本ハイウェイ・メンテナンス名古屋㈱
工期	2024年4月1日 ~ 2025年3月31日		作成者	小瀬 裕之
作業名称	事故復旧作業 防護柵及び支柱取替工	作業手順書	作成年月日	令和3年8月26日
使用機械 使用設備	4tユニック、Wキャブ、連絡車、トイレカー (必要に応じて) 散水車、0.1m ³ BH、3tダンプ		改正年月日	令和6年7月24日
使用工具、機器	3.5m ² エアコンプレッサー、打込機(空圧式)、大ハンマー、プレーカー(空圧式)、 吊具、レバーブロック		現場責任者	会社名
	(必要に応じて) ガス溶接機具、ホルソー、ディスクグラインダー、手鎌、工具一式、清掃道具		協力会社責任者	目録サイン
保護具	ヘルメット、安全靴、防護メガネ、マスク、防護手袋(刃物作業時は耐切創用)、視認性の良い作業着		作業順序	
材料	フッ素樹脂キャップ、地際防錆材、防護柵、防護柵支柱、ボルト類 (必要に応じて) 破損状況に応じたその他材料 、セメント類、砂、砕石 等			
免許・資格等 (免)(技)(特)(準) 特)の区別を記す	自動車運転免許証(大型もしくは中型)			
	特別教育:職長・振動工具取扱			
作業人員	作業責任者 1人、作業員 4人 合計 5名			
作業手順 周知会 参加者 サイン (記録)	作業責任者(職長)	周知会実施日	1 準備作業	
	(役割を確認してこの作業に関わる全員が自筆サインする)		2 現地現場確認	
			3 損傷防護柵及び支柱撤去	
			4 新規防護柵及び支柱建込み	
			5 清掃・後片付け	

リスクの見積り	重大性			組み合わせ	リスクの評価	優先度又は実施担当者
	○:軽微 休業4日未満	△:重症 休業4日以上	×:極めて重大 死亡・障害を伴う			
可能性	○:めったに発生しない (5年に1回程度)	△	×	○○	1:極めて小さい	関係者に対する周知
	△:時々発生する (1年に1回程度)	△△	△×	○△、△○	2:かなり小さい	関係者に対する指示
	×:かなり発生する (6ヶ月に1回程度)	×△	××	○×、△△、×△ △×、×△ ××	3:中程度 4:かなり大きい 5:極めて大きい	職長が確認 工事担当責任者が確認 十分に訓練をした対策が必要

リスクレベル 5=十分に訓練をした対策が必要 4=工事担当責任者が確認 3=職長が確認 2=関係者に対する指示 1=関係者に対する周知

作業項目 (誰が)	手順 主なステップ	急所 作業のポイント	リスクの洗い出し (予想されるミス・ロス)	可能性	重大性	評価点	リスク	ミス・ロス	リスクの除去・低減のための実施すべき事項の特定 (防止対策)
準備作業(全員)	朝礼・KYK 作業箇所確認 周辺安全確認(埋設物・構造物)	健康状態の確認・免許・資格等の確認・光物(チョッキ・脚絆・ヘッドライト等)の充電確認・業務用プレートの確認、入場方法・入場箇所・車両順番・役割分担の確認・車両の始業前点検、工具の確認、積み込み荷の確認(落下・飛散対策)荷締め位置、荷台のネット・シート掛けの確認する。 工事車両幕がロープ及び養生テープで確実に固定されていることを確認。 担当者は施工計画段階でNEXCOと打合せした内容を作業員へ周知・報告すること。 車両出入庫の際に、運転手は車両の周囲(上下含む)を指差し、障害物が無い事を確認のうえ、出入庫する。							リスクの除去・低減のための実施すべき事項の特定 (防止対策)
現地現場確認	作業箇所確認 周辺安全確認(埋設物・構造物・雑草)	雑草等ある場合は事前に手鎌で処置する	手鎌で手を切る	△	×	△	4	安	作業時は切創手袋を着用する。
損傷防護柵及び支柱撤去	防護柵撤去	防護柵の跳ね返り	損傷防護柵が跳ね返り作業員もしくは作業車両に激突する	△	×	△	4	安	防護柵の跳ね返り等予想される場合チェーンブロックを使用し撤去を行う。
	防護柵支柱の撤去	ユニック使用について	損傷支柱撤去時、ワイヤーが切れ怪我をずる。	△	×	△	4	安	ユニック使用時はあまり負荷をかけすぎず、大ハンマーやプレーカー等で振動を与えながら撤去する。
		切断支柱について	真っ二つに折れている支柱を抜く際、ガス溶接にて新たな穴を作る際に火花が柵れ草に飛び移り火災になる	△	×	△	4	環	周りに燃えるやすいものがないか確認をしてから作業を行う。
新規防護柵及び支柱設置	支柱の建込み 防護柵の設置		支柱の建込み時、支柱と打込機にてを挟む	×	△	×	4	安	作業前の声掛けや作業員の配置の確認を行った後、操作者と合図を取り合い作業を開始する。
後片付け(全員)	発生材の積み込み		損傷支柱及び防護柵を重ねる際に指を詰める	×	○	×	3	安	2人以上で作業を行い、お互い声を掛け合い作業を行う。
	清掃作業を行う	ほうき、フロアー、ハンドスウィーパーで清掃する	損傷支柱及び防護柵をトラック等に積み込み際、誤操作により車両と吊り荷に挟まれけがをずる	△	×	△	4	安	操作前に吊り荷の付近に人がいないか目視にて確認し、周囲に声掛けを行った後操作する。
	現場離脱	工事車両幕を取外した場合は専用のケースに 確実に格納し車内に保管する事							